日観連特集

日観連HP「やど日本」機能強化で誘客促進へ

会員に活用呼びかけ

日本観光旅館連盟は、ホームページ（HP）「日観連やど日本」の機能強化を図っている。旅館・ホテルの検索、ダイレクト宿泊予約など従来から備えている機能はもとより、リニューアルにより、旅館・ホテルの自慢の料理を紹介する「旬の味」、宿のスタッフがつづったブログを集めた「やどブログ」、宿と観光地の魅力を紹介する「わが宿わが街」などのコーナーも開設している。会員の旅館・ホテルが施設の情報を随時更新できる管理機能も追加した。日観連では、「やど日本」をさらに会員に活用してもらい、情報発信や誘客促進に力を入れていく考えだ。

「やど日本」は、日観連に加盟する全会員の旅館・ホテル情報を掲載したHP。一般消費者に向けた情報発信を重視しており、設備やサービスなどの施設情報の詳細を画像を交えて紹介している。会員施設はダイレクト予約機能に参加すれば、旅行者から直予約を受け付けることもできる。

「やど日本」は、08年7月にトップページの構成、施設情報の更新といった大幅なリニューアルを実施した。以降も機能強化を図り、09年1月には会員管理機能を追加し、ログインIDやパスワードを取得すれば、旅館・ホテルの担当者が直接、設備やサービスの情報、画像などを随時更新できるようになった。会員管理機能に登録すると、宿の魅力を紹介するトップページのコーナー「やどブログ」や「旬の味」などに情報を掲載できる。

コンテンツが充実

トップページの機能を順に紹介すると、旅館・ホテル検索機能は、地図、施設名、観光地名、市区町村名からの検索に加え、料金やサービス内容などの詳細な条件を選択して検索できる。また、「こだわりで探す」という検索バーを設け、①温泉②露天風呂③貸切風呂④バリアフリー⑤ペットと一緒⑥特典あり――などに該当する旅館・ホテルを地域別に見つけられるようになっている。

各旅館・ホテルの紹介ページは、会員からのアンケート調査を基に作成したもので、客室や風呂、備品、付帯施設、料金などの基本情報から、ペット対応といった各施設のセールスポイントなども掲載している。1軒当たり、外観や設備、料理など最大5点の画像が掲載されている。

外国人旅行者向けには、英文の施設情報も掲載している。

「わが宿わが街」のコーナーは、会員向けの日観連機関誌「やど日本マガジン」に掲載されている記事をデータ化して掲載したもので、宿とその地域の魅力、宿と地域づくりのかかわりなどを紹介している。

「旬の味」では、旅館・ホテル自慢のオリジナル料理や郷土料理を画像入りで紹介している。また、旅館・ホテルの板長やシェフが、オリジナル料理や郷土料理などを家庭でも気軽に楽しんでもらえるようにまとめた貴重な「やどレシピ」も掲載している。

「やどブログ」は、各旅館・ホテルのオリジナルHPに掲載されている経営者や女将、スタッフなどのブログを集めたコーナー。宿や地域のイベント情報や四季折々の旬な話題、旅に出たくなるようなこぼれ話を読むことができる。

このほかに「全国お土産自慢」として、オンライン・ショッピング専門サイトを運営しているグーテンと提携し、旅館・ホテルのオリジナル土産品などをネット上で販売できるコーナーを開設している。商品の登録は有償で「やど日本」を経由して、グーテンの専門サイトに出店される仕組みとなっている。

さらに今年7月中旬には、各旅館・ホテルが提供している宿泊プランを紹介するコーナーも新設する予定だ。

訪問者数アップへ

「やど日本」の活用を検討している日観連の誘客促進委員会では、情報発信の強化、宿泊予約の増加に向け、会員に次の点について協力を呼びかけている。①「やど日本」バーナーを各会員のオリジナルHPに貼り付けてほしい②「やど日本英文サイト」に登録してほしい③トップページの「会員専用コーナー」を活用してほしい④「やど日本」会員管理機能の施設担当者登録をしてほしい――。とくに各会員のオリジナルHPへの「やど日本」バーナーの貼り付けは、訪問数のアップに相乗効果を発揮することにつながるため、会員に強く協力を求めている。

「やど日本」が大幅なリニューアルを実施した08年7月1日から09年3月31日までの利用状況は、総セッション数（サイトへの訪問者数）が29万167セッション、総ページビュー数（表示されたページの合計数）が101万3583ページビュー、新規セッション率（初めてサイトを訪れている割合）が77・8％だった。

また、「やど日本」は、携帯電話から閲覧できる携帯サイトも開設しており、利用を呼びかけていく。

URL　http://www.nikkanren.or.jp
携帯サイト　http://nikkanren.or.jp/mobile

「日観連やど日本」のトップページ

環境に優しい宿へ

エコ活動への取り組み促進

日本観光旅館連盟は、08年度に「地球に優しい宿推進委員会」を設置するなど、会員旅館・ホテルでのエコ活動の推進に取り組んでいる。日観連のホームページ「日観連やど日本」では、さまざまなエコ活動に取り組む宿を検索できるほか、09年2月には事例発表を行うセミナーも開催した。

地球に優しい宿推進委員会は、08年7月に開催された北海道洞爺湖サミットの主要なテーマが環境問題だったことなどを契機に、地球温暖化や燃料・食料にかかわる問題への対応として設置された。また、日観連は02年に「地球温暖化防止自主計画」を策定し、会員旅館・ホテルの電力消費量を2010年までに99年比で4％削減することを目標に掲げている。

委員会は環境問題への取り組み姿勢として、『モノの豊かさから心の豊かさへ』の意識改革を行う必要がある」「日本古来の文化である『もったいない』精神を大事にしながら、『お客さまにはご迷惑をかけない、お客様に強制しない』を基本に、旅館・ホテルによる省エネルギー、省資源への取り組みを促進することにした。

08年7月には全会員を対象に「エコ対策の推進について」と題したアンケート調査を実施し、具体的な実践例などを収集した。会員施設での環境問題への取り組みは、ISO14001（国際的な環境マネジメントシステム規格）の取得といったものから、エコバックの配布、生ゴミの堆肥化による野菜の自家栽培、打ち水や散水の実施、薪ストーブの利用など多岐にわたった。

「やど日本」では、エコ活動に取り組んでいる旅館・ホテルを検索できる。例えば、ISO14001取得の宿、リサイクル箸や竹製割り箸を使用している宿、生ゴミリサイクルを実施している宿、自家発電装置を設置している宿などがある。

また、日観連は09年2月24日「国際ホテル・レストラン・ショー」（東京・東京ビッグサイト）の中で、「地球に優しい宿をめざして」と題したセミナーを開催。会員の旅館・ホテル5軒がエコ活動の実践例を発表した。

いきかえりの宿瀧波（山形県・赤湯温泉）、ヴィラ・イナワシロ（福島県・猪苗代町）、常盤館（長野県・小諸市）、行燈旅館（東京都・台東区）、葉渡莉（石川県・山代温泉）の5軒からは、薪を燃料にしたウッドボイラーの活用、建築資材の再利用、打ち水やマイ箸のキャンペーン、地産地消の食の提供などの取り組みが紹介された。

セミナーに参加したのは日観連会員のほか、見本市の来場者ら。「楽しみながらエコに取り組むという宿の思いに感銘を受けた」「利潤追求のみでエコ問題に無関心な宿泊施設がまだまだ多いと思うが、真剣に取り組む施設が増えているのは良いことだ」などの感想が寄せられた。

「地球に優しい宿」をテーマにした日観連セミナー（2009年2月、東京ビッグサイト）

08年度営業調査

宿泊単価は前年比増

定員稼働率は伸び悩む

日本観光旅館連盟は、四季ごとに調査している旅館営業概況調査の2008年度の通年（08年3月～09年2月）の結果を集計した。総宿泊単価（客1人当たりの総売上）は、前年度比0・4％増の1万6349円と微増。宿泊単価（客1人当たりの基本宿泊料）は同0・9％増の1万1869円だった。しかし、定員稼働率は、地震の風評被害が長引いた東北エリアが低迷したほか、世界同時不況の影響で全国的に伸び悩み、同1・5％減の38・9％に下降した。

主要観光地所在の会員施設を対象にした四季（3カ月）ごとの調査の結果で、各期間の回答施設数は250軒前後。

総宿泊単価は、2000年度に1万7千円を割ってから低迷している。08年度は四季を通じて前年度よりわずかに上向いた。ただ、施設規模別では、大規模（80室以上）と中規模（30～79室）は微増だが、小規模（29室以下）は微減だった。

宿泊単価は、04年度まで前年割れが続いていたが、05年度以降は回復傾向にある。08年度は大規模が前年度から1・3％増加し、中規模も0・6％増だったが、小規模は0・5％減だった。

08年度の定員稼働率は、全規模で前年度より1～2％のダウン。地域別でみても前年度を上回ったのは北陸エリアだけ。調査対象の北陸エリアには新潟が含まれるため、07年の能登半島地震、新潟県中越沖地震からの回復が主な要因。東北エリアは、岩手・宮城内陸地震で客足に影響を受け、前年度比5・7％減だった。

2008年度（08年3月～09年2月）地域・規模別営業概況　▲＝マイナス

	総宿泊単価（円、%）			宿泊単価（円、%）			定員稼働率(%)		
	07年度	08年度	伸び率	07年度	08年度	伸び率	07年度	08年度	伸び率
北海道	12,357	12,199	▲ 1.3	9,592	9,480	▲ 1.2	36.3	35.1	▲ 3.3
大規模	12,698	12,578	▲ 0.9	9,887	9,802	▲ 0.9	35.8	34.2	▲ 4.5
中規模	9,419	9,215	▲ 2.2	7,322	7,191	▲ 1.8	40.3	41.0	1.7
小規模	15,845	15,696	▲ 0.9	11,664	11,549	▲ 1.0	33.6	32.8	▲ 2.4
東北	16,528	16,613	0.5	11,260	11,282	0.2	36.8	34.7	▲ 5.7
大規模	16,771	16,856	0.5	11,257	11,276	0.2	40.5	39.0	▲ 3.7
中規模	16,295	16,362	0.4	11,054	11,095	0.4	34.7	32.0	▲ 7.8
小規模	16,343	16,458	0.7	12,050	12,012	▲ 0.3	31.2	29.1	▲ 6.7
関東	17,189	17,207	0.1	12,489	12,486	0.0	41.3	40.6	▲ 1.7
大規模	17,254	17,252	▲ 0.0	11,773	11,651	▲ 1.0	46.5	45.7	▲ 1.7
中規模	15,406	15,521	0.7	12,637	12,811	1.4	36.9	36.3	▲ 1.6
小規模	21,520	21,396	▲ 0.6	15,977	16,160	1.1	32.0	31.6	▲ 1.3
中部	19,182	19,272	0.5	12,959	13,042	0.6	40.9	40.0	▲ 2.2
大規模	19,788	19,825	0.2	12,968	13,077	0.8	43.5	43.1	▲ 0.9
中規模	17,523	17,728	1.2	12,507	12,509	0.0	39.0	36.7	▲ 5.9
小規模	18,635	18,564	▲ 0.4	14,416	14,418	0.0	28.1	27.5	▲ 2.1
北陸	24,544	24,814	1.1	18,910	19,337	2.3	35.0	38.2	9.1
大規模	27,706	27,816	0.4	21,794	22,122	1.5	35.1	39.7	13.1
中規模	18,866	18,918	0.3	13,626	13,756	1.0	36.4	37.2	2.2
小規模	24,136	24,038	▲ 0.4	19,135	19,242	0.6	28.4	29.9	5.3
近畿	15,414	15,313	▲ 0.7	11,770	11,800	0.3	44.0	43.5	▲ 1.1
大規模	13,607	13,544	▲ 0.5	10,486	10,577	0.9	45.8	44.3	▲ 3.3
中規模	15,293	15,217	▲ 0.5	11,851	11,841	▲ 0.1	46.6	47.3	1.5
小規模	21,769	21,389	▲ 1.7	15,839	15,704	▲ 0.9	34.5	33.9	▲ 1.7
中国	16,485	16,448	▲ 0.2	11,449	11,518	0.6	38.4	38.2	▲ 0.5
大規模	16,323	16,203	▲ 0.7	11,235	11,302	0.6	36.1	36.3	0.6
中規模	16,428	16,448	0.1	11,268	11,419	1.3	42.1	41.3	▲ 1.9
小規模	18,129	18,484	2.0	14,257	13,907	▲ 2.5	38.4	37.1	▲ 3.4
四国	14,437	14,432	▲ 0.0	9,939	10,094	1.6	40.4	40.2	▲ 0.5
大規模	16,521	16,349	▲ 1.0	9,804	10,124	3.3	44.2	43.9	▲ 0.7
中規模	11,995	12,202	1.7	9,698	9,828	1.3	38.2	37.9	▲ 0.8
小規模	17,823	16,669	▲ 6.5	14,060	12,506	▲11.1	30.3	31.1	2.6
九州	14,034	14,053	0.1	10,296	10,334	0.4	41.6	41.5	▲ 0.2
大規模	12,848	12,964	0.9	9,748	9,783	0.4	47.6	47.8	0.4
中規模	15,708	15,659	▲ 0.3	10,892	11,019	1.2	34.9	34.6	▲ 0.9
小規模	19,083	18,442	▲ 3.4	14,309	13,841	▲ 3.3	30.0	27.9	▲ 7.0
全国	16,283	16,349	0.4	11,765	11,869	0.9	39.5	38.9	▲ 1.5
大規模	16,370	16,483	0.7	11,650	11,797	1.3	41.4	40.9	▲ 1.2
中規模	15,326	15,346	0.1	11,290	11,358	0.6	38.3	37.6	▲ 1.8
小規模	19,511	19,377	▲ 0.7	14,619	14,545	▲ 0.5	31.8	31.1	▲ 2.2

2008年度　1日1室当り売上高

	1日1室売上高（円、%）		
	07年度	08年度	伸び率
北海道	17,358	16,564	▲ 4.6
大規模	18,350	17,400	▲ 5.2
中規模	11,753	11,698	▲ 0.5
小規模	20,033	19,332	▲ 3.5
東北	25,741	24,373	▲ 5.3
大規模	29,609	28,619	▲ 3.3
中規模	23,369	21,659	▲ 7.3
小規模	21,309	20,006	▲ 6.1
関東	27,736	27,315	▲ 1.5
大規模	31,625	31,054	▲ 1.8
中規模	20,779	20,605	▲ 0.8
小規模	30,642	30,146	▲ 1.6
中部	29,910	29,289	▲ 2.1
大規模	32,764	32,432	▲ 1.0
中規模	25,001	23,687	▲ 5.3
小規模	22,659	21,881	▲ 3.4
北陸	43,019	47,412	10.2
大規模	51,621	58,720	13.8
中規模	31,978	32,697	2.2
小規模	29,747	31,203	4.9
近畿	26,373	25,895	▲ 1.8
大規模	21,193	20,430	▲ 3.6
中規模	32,031	32,359	1.0
小規模	32,054	30,981	▲ 3.3
中国	25,132	24,887	▲ 1.0
大規模	23,454	23,397	▲ 0.2
中規模	26,902	26,402	▲ 1.9
小規模	29,936	29,466	▲ 1.6
四国	15,685	15,491	▲ 1.2
大規模	17,519	17,211	▲ 1.8
中規模	13,407	13,363	▲ 0.3
小規模	18,768	18,011	▲ 4.0
九州	17,738	17,651	▲ 0.5
大規模	15,792	15,896	0.7
中規模	21,637	21,419	▲ 1.0
小規模	18,865	16,977	▲10.0
全国	23,994	23,719	▲ 1.1
大規模	24,721	24,602	▲ 0.5
中規模	22,178	21,755	▲ 1.9
小規模	25,695	24,879	▲ 3.2

2008年度　四季別営業概況

	総宿泊単価		宿泊単価		定員稼働率	
	単価額(円)	前年比増減(%)	単価額(円)	前年比増減(%)	稼働率(%)	前年比増減(%)
春季(3～5月)	16,200	0.4	11,847	1.0	39.0	0.0
夏季(6～8月)	15,447	0.8	11,550	1.5	40.4	▲1.9
秋季(9～11月)	16,853	0.3	12,153	0.6	39.6	▲2.9
冬季(12～2月)	17,622	0.5	12,094	0.2	31.8	▲6.5
通年	16,349	0.4	11,869	0.9	38.9	▲1.5